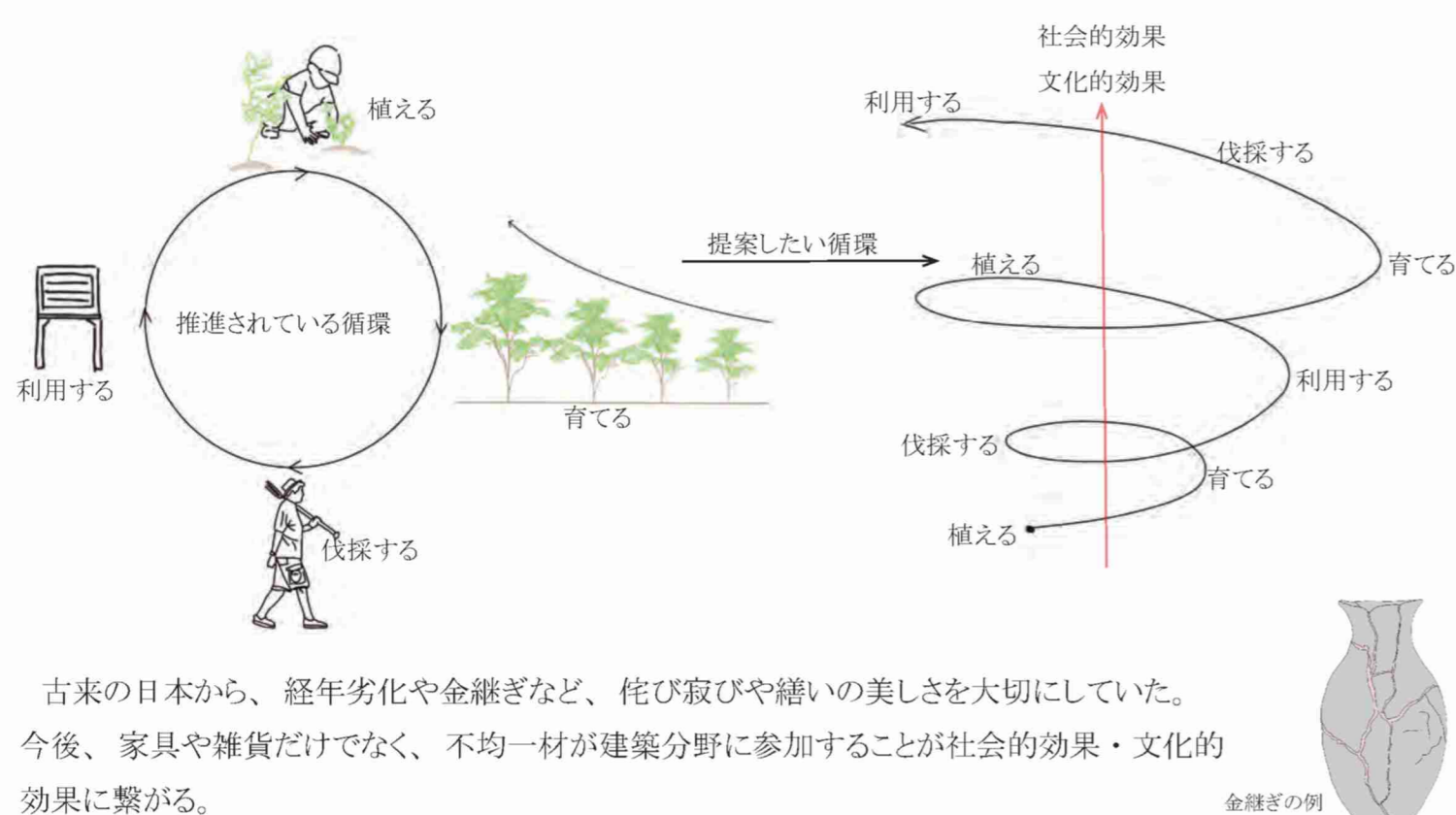


# 巡る



## 00 社会背景

植える、育てる、伐採する、利用する循環が大事とされているが、デッドストック木材や不均一材料は利用されていない現状に至る。それを踏まえて、木材の循環について再考する。近年、木材に限らず不均一材はゴミと見なされている。本当の循環を目指すには、不均一材料に新たな価値を見出すことが社会的効果・文化的効果を生むと考える。



## 01 敷地

田沢湖という自然豊かな場所で、工芸体験や心安らぐ空間のある複合施設を提案する。



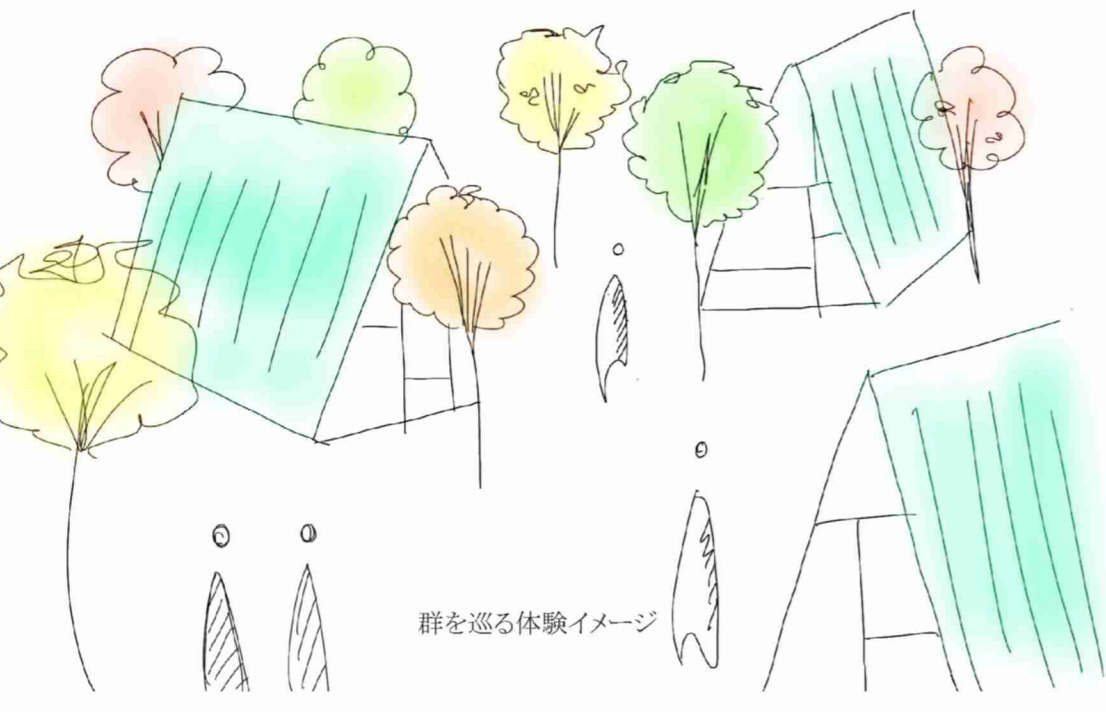
## 02 利用者と巡る工芸

職人が利用者へ向けて工芸品をつくるワークショップを開催する。



## 03 群を巡る

森を巡るように建築群を配置することで、利用者に森を歩かせる体験をすることができる。



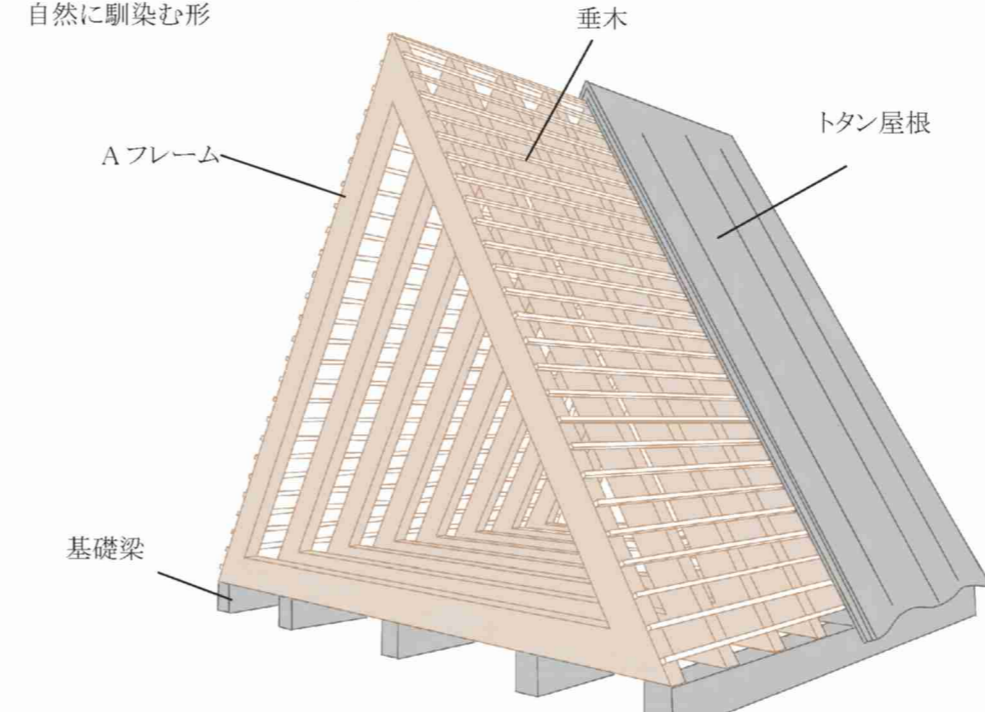
## 04 自然を巡る

群を巡り、森を巡ることで日常では気づけない非日常体験ができるかもしれない。



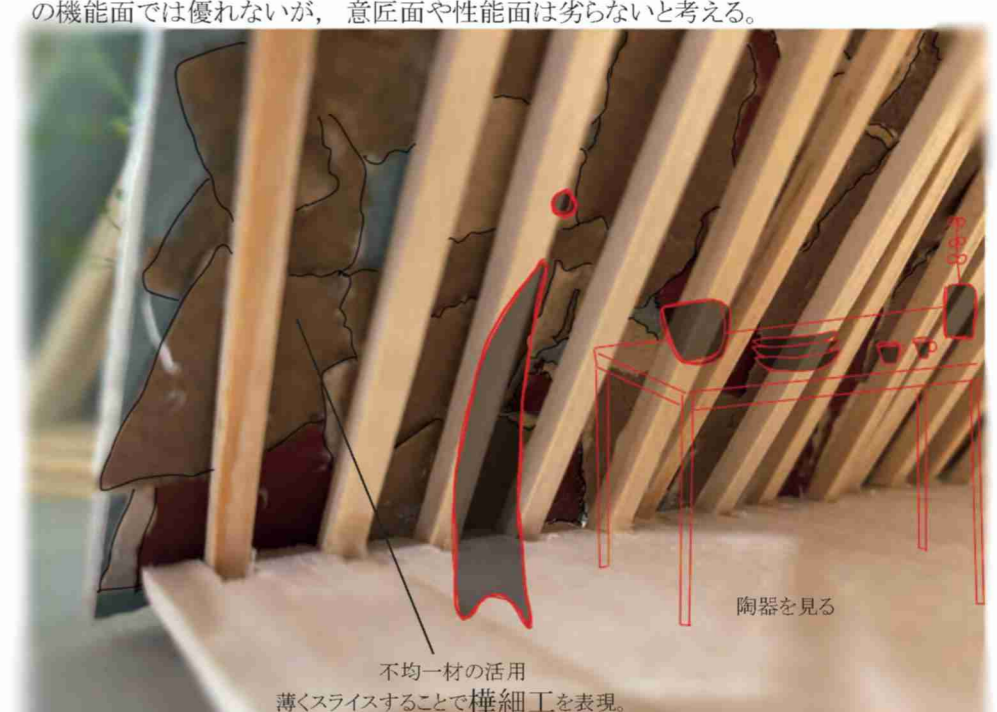
## 05 構造体 Aフレーム

Aフレームの理由  
自然を楽しむ大開口・大空間の実現  
自然に馴染む形



## 06 アップサイクル 材を巡る

均一材と不均一材を同じ建築物の中に役割を持たせて巡らせる。Aフレームの登り梁の間に不均一材を薄くスライスしたものを内装材とする。不均一材や樹皮は構造体としての機能面では優れないが、意匠面や性能面は劣らないと考える。



## 07 平面図・断面図・パース

